

No.182

公民館だより

令和6年11月

宮津市字由良
由良の里センター内
由良地区公民館

スポーツの楽しみ方

由良地区公民館長 千坂 幸雄

今年の夏は大変暑い日が長く続きました。秋分を迎えてやっと秋を感じ出しました。

私は今年の1月から毎日3km走っていました。暑くなりいつからか走らなくなりました。涼しくなりましたので、又走ろうと思います。

さて、皆さんはスポーツを楽しんでますか。

スポーツをする意義は人によっていろいろだと思えます。

若い頃だとその種目にいそしみ、他のチームや人と競争して勝ち負けに一喜一憂します。

又、一流選手になってプロを目指す。目指そうとする人もいます。

年がいけば、スポーツそのものを楽しみながら人々との交流を楽しんだり、健康づくりをすることになります。

今日では障害を持った人たちのスポーツが盛んになり、その方達はスポーツをすることと充実した生活を送ることが出来ています。そこには、

人との交流、やりがい、楽しみなどスポーツの良さを健常者以上に感じることが出来るのでしよう。

ここまでのことは、自分がスポーツをする側の楽しみで

すが、スポーツの楽しみ方にはスポーツを観戦する楽しみ方があります。テレビやパソコンでスポーツ中継を見ることとが中心で、今年の夏はパリオリンピック、パリパラリンピックを観戦し、楽しみました。プロ野球、大相撲、サッカー、リーグやバスケットリーグなど最近では多くのプロスポーツを観戦することが出来ます。

出来れば、会場に出かけて実際に観戦すれば、より楽しむことが出来ます。身近では、今年の9月29日に栗田中学校のグラウンドで中学校の野球大会がありました。10月5日には栗田小学校のグラウンドで栗田学院運動会が開催されました。

もう一つ、スポーツの楽しみ方には、スポーツを支えるやりがいがあります。大会を開催し、審判員などで選手や観戦者に喜んでもらったり、クラブを運営して指導者として活動したりすることです。

スポーツの楽しみ(良さ)

は誰にでもその人に応じた楽しみ方があります。

今年、私が体験した(運営側)スポーツを紹介します。

第45回全日本マスターズ陸上競技選手権2024京都大会9月21日、22日、23日の3日間、たけびしスタジアム京都で開催されました。

この大会の趣旨は「本大会は陸上競技を通して、より一層心身の健康維持・促進を図り、生涯スポーツの推進発展に寄与することを目的として開催します。」とあります。新聞に「100歳の男性が、」
「800mに出場し大会新記録を出した。(M100というクラスの中で)」「50歳代のクラスで元オリンピックピック選手が100mを10秒台で走った。」と掲載されていました。70歳・80歳になっても多くの方が選手で出場していました。

由良地区の皆さん、より多くの方にスポーツを楽しんでいただくに生涯を幸せに過ごすことが出来ればと思います。

行事報告

主事 千坂 昌子

ニユースポーツ

実施日 6月16日(日)

参加者 18名

(内 子ども2名)

内容

- モルック
- ユニボッチャ
- ファミリーバドミントン

9時に、はまの子体育館集合
準備体操の後グラウンドの木
陰でモルックを実施。

的を2か所作り、4チームで
競いました。経験者、初めての
方いろいろでしたが途中、お茶
とお菓子で休憩をはさんで賑
やかに楽しみました。

その後体育館でユニボッ
チャ、ファミリーバドミント
ンを楽しみました。

参加者の方々からは「どの種
目も楽しかった」と感想をいた



だきました。
体を動かすことと人と関わ
ることの大切さが学べる機会
です。コロナ前に比べますとま
だ参加者数は戻っていません。
小さな子どもから高齢の方ま
で無理なく楽しめるスポー
ツですので、お一人でも多くの方
に参加して頂きたいです。

第1回浴衣着付け教室

実施日 7月7日(日)

参加者 6名

講師 岸田八重子

岡本 孝子(敬称略)



由良ふるさと祭に向けて「浴
衣を着て参加出来たら良いの
では」ということで、新しい試
みに取り組みました。

参加者が少なかったので、ほ
ぼマンツーマン状態での着付
け教室でした。

中学校でも同じ取り組みが
ありましたので参加してくれ
る子ども達を待っていました
が、今回はありませんでした。

第2回浴衣着付け教室

実施日 7月12日(金)

参加者 8名

講師 岸田八重子(敬称略)

3名の新会員が加わりまし
た。2回目の生徒は1回目です
んだことを思い出しながら手
ほどきを受けていました。

浴衣を着ることが着物文化
に触れるきっかけになれば何
よりです。



今回の取り組みは、地区にお住まいの方に講師になっていただき、培った技能を地域の方々に広め貢献する事が、生き甲斐づくりになるという施策でした。まだまだ技能は眠っております。我こそはと思われの方はお声掛けください。
検討させていただきます。

ふるさと祭 盆踊り

実施日 7月27日(金)
参加者 約200名

由良地区ふるさと祭実行委員会への協力事業として盆踊りの準備・片付けに参加しました。祭の当日は公民館役員12名が集まり、機材を会場に搬入して準備を行いました。6時過ぎから踊り保存会の方15名が参加され7時前から踊りが始まりました。踊り保存会の方のリードで賑やかに踊ることが出来ました。

- 由良小唄
- えいへいや踊り
- 宮津節



8時45分打ち上げ花火終了後に片付けを開始しました。

今年度から公民館役員人数が半分になりましたので役員以外の方の応援が必要になります。よろしくお願いいたします。

後になりましたが、踊り保存会の方から盆踊りに向けて2回練習をお世話になりました。ありがとうございます。

グラウンド及び体育館

周辺除草作業

実施日 9月1日(日)
参加者 75名

暑い日が続いていましたが、この日は曇り空の30度以下で作業のし易い日になりました。
グラウンドは草刈り機持参の方を中心に作業していただき、体育館周辺は日頃、体育館を利用していている団体の方々が中心で作業されました。



頼もしかったのは剣道教室の子どもたちが多数参加してくれたことです。とても良い社会勉強になりましたね。

多くの方の協力で美しくなりました。

ツデーウォーク

実施日 9月28日
参加者 5名

午前7時50分丹後由良駅集合丹鉄で鳥崎公園→真名井神社→笠松公園→汽船で文殊へビューランドで股のぞき→鳥崎公園→丹後由良駅
小旅行気分の楽しいウォーキングでした。

来年は6kmコースにしようかと思っております。
(金引の滝コース)



地域と歩む栗田学院を目指して

栗田中学校 教頭 田中 章 二

由良地区の皆様には、日頃より、本学院の教育活動に対し、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

栗田中学校に平成二十七年四月に着任し、今年度で十年目となりました。その間、地域の皆様には本当にお世話になっております。ありがとうございます。

さて、「栗田学院」は平成三十一年四月に小中一貫教育全面実施、令和二年四月には、学校運営協議会（コミュニティ・スクー

ル）の本格実施となり、幼稚園・小学校・中学校と保護者の皆様、そして地



「幼稚園団体演技」の様子

域の皆様とともに教育活動を行っております。

そして、今年度は、運動会を幼稚園・小学校・中学校そして、保護者の皆様や地域の皆様のご協力のもと、十月五日に初めて合同開催をすることができました。

「栗田学院運動会」は、学院全ての子ども達（幼稚園児十一名、小学生七十一名、中学生三十名、合計百二十二名）の元気あふれる姿を見ていただくとともに、地域の方が笑顔で集う場になれば、という思いで今年度初めて合同で開催することになりました。また、開催にあたっては学校運営協議会の皆様



「小学校チーム演技」の様子

にもご協力を願います。由良地区や栗田地区の皆様が参加できる運動会となりました。

当日は、前日

までの雨の影響がありグラウンドコンディションが心配でしたが、予定どおり開会式を始めることができました。競技では、幼稚園児、小学生、中学生ともに練習の成果を發揮し、笑顔で各種目を楽しそうに行う姿が見られました。また、小学生と中学生は、自分達が競技をしていないときには補助員として、各競技の補助をしたり、進行役として、しっかりとアナウンスをしたりしました。小さなハプニングもありましたが、それをみんなでカバーしながら行い、楽しい一日となりました。



「中学校大縄跳び」の様子

んだり、自らの成長過程を振り返ったりする機会となりました。また、協力して運動会を実施することで、お互いが認め合える豊かな心の育成にもつながったと思います。さらには、多くの保護者の皆様や地域の皆様に見守られる中で発表したことで、地域を身近に感じ、ふるさとを愛する心やふるさとを誇りに思う気持ちにもつながったように思います。

地域の皆様のご支援・ご協力に改めて感謝し、今後も栗田学院の教育目標である「未来を生きる心身ともにたくましい幼児・児童・生徒の育成」を目指し、地域の皆様とともに子ども達のものよりよい成長につながる教育活動を推進していきます。これからも栗田学院へのご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



「保護者・地域種目」の様子

由良地区における防災について(その2)

由良自治連合会 会長 濱 本 喜 彦

令和6年も早いもので11月となりました。今年の3月に発行されたNo.180号の公民館だよりに於いて『由良地区における防災について』と題して投稿しましたが、その後、自治連合会は防災対応を各地区の自治会長と協議し、今年度は由良地区全体で地震・津波を想定した防災訓練を執り行うこととなりました。

しかし、この原稿を書いているのが10月初旬のため、皆様のお手元に原稿が届きこの文章をお読みになる頃にはすでに11月10日(日)午前9時に由良全地区に流された緊急地震速報を合図に行われる一斉防災訓練が無事に終了していることと思います。

あらためまして、地区の皆様の日頃からのご協力に感謝いたします。

さて、前回の投稿でも触れましたが、丹後地方には通称『丹後大震災』といわれる直下型の大地震が周期的(約100年周期)に発生しております。ただ、丹後地方だけが特別に危険な地域というわけではなく、別紙に添付させて頂きました震災年表からご理解していただきますように日本全国いたるところで周期的に大きな地震災害が発生しております。身近な『丹後大震災』においても前回発生した1927年(昭和2年)から100年近く経過しておりますので『丹後大震災』規模の地震がいつ発生しても不思議ではありません。

従いまして我々は日頃からいつ何時災害が発生しても対応できる心構えと備えが必要であると考えます。

そこで、今回の避難訓練等を

経験して頂き、無事に避難できたと想定して次に考えられるのは避難所の確保となります。

現在の由良地区に關しましては、由良地区公民館(由良の里センター)が洪水発生時の避難場所として宮津市の指定避難所となっております。

今回の地震発生後の緊急避難場所として、はまの子体育館(旧由良小体育館)が挙げられますが由良の里センターは比較的高い位置に立地しているということ直下型の地震による津波被害(過去の丹後震災では津波被害よりも家屋の倒壊による圧死・焼死被害の方が記録されています)には耐えられるのではないかと想定しております。もちろん建物の耐震補強は必要かと思えますが直下型地震発生後は洪水災害時と同様に由良の里センターが由良地区の指定避難所になると考えられます。従って、由良自治連合会は、由良の里センターに防災備品や水をはじめとした非常食等の備蓄

を由良地区公民館とも協議しながら進めていきたいと考えております。いずれにしても、由良の里センターは由良地区の重要な拠点になると考えられますし、またそのように内外にアピールしていきたいと考えております。

最後にもうひとつ提案させて頂きますと、あと一ヶ所由良地区の防災拠点として旧由良幼稚園を活用したいと考えております。

こちらは、地区のみなさまの避難施設ではなく、大雨洪水災害時における由良消防団の統括指令拠点として活用していきたいと考えております。これから各地区の自治会長を通して地区民のみなさまに旧由良幼稚園の廃園に関する合意をいただきたく年度末の各自治会の総会にて皆様の合意を得られるようにしたいと考えています。この件に關しては追って地区のみなさまに自治連合会より説明させて頂きますので何卒ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

丹後大震災		京都市内に被害をもたらした震災					
発生年	周期	発生年	周期	最大震度	地域(名称)	種類	被害状況
		827		7	京都	*	官舎・家屋全壊多数
		887	60	8.5	五畿・七道	◎	京都でも官舎・家屋倒壊多く、圧死者多数
937			50		丹後大震災	●	
		938	1	7	京都・紀伊	*	宮中で死者4、官舎、家屋、堂塔倒壊多数
		976	38	6.7	山城・近江	*	京都で官舎・家屋・仏寺の倒壊多く、圧死者多数
1022	85		46		丹後大震災	●	
		1096	74	8.5	畿内・東海道	◎	京都では大極殿小破、諸寺に被害。(津波被害大)
		1099	3	8.3	南海道・畿内	◎	土佐で田千余町みな海に沈むなど津波被害大
		1185	86	7.4	近江・山城・大和	*	京都、特に白川辺で被害大。死者・家屋等倒壊多数
		1317	132	7	京都	*	白川辺で被害大。死者・家屋等倒壊多数
		1361	44	8.5	畿内・土佐・阿波	◎	諸寺諸堂に被害(摂津、阿波、土佐に津波被害大)
1475	453		114		丹後大震災	●	
1496	21		21		丹後大震災	●	
		1498	2	8.4	東海道全般	◎	紀伊から房総にかけて津波被害大
		1596	98	7.5	畿内 (慶長伏見地震)	*	三条から伏見間で被害が最も大きく、死者・家屋・諸寺諸堂倒壊多数。 伏見城では天守大破し、圧死者500。
		1605	9	7.9	東海・南海・西海諸道 (慶長地震)	◎	津波が犬吠埼から九州までの太平洋側に来襲し被害大
1654	158		49		丹後大震災	●	
1660	6		6		丹後大震災	●	
1662	2	1662	0		山城・大和・河内・和泉・摂津・丹後・若狭・近江・美濃・伊勢・駿河	*	比良岳付近の被害甚大で京都でも死者200 余家屋倒壊1000
	67			7.6	・三河・信濃		
	57	1707	45		五畿・七道 (宝永地震)	◎	我が国最大級の地震の一つ、全体で少なくとも死者2万。近畿内陸でも被害大。京都では小被害。
1729			22	8.4	丹後大震災	●	
1786		1830	57		丹後大震災	●	
			44	6.5	京都および隣国	*	京都・亀岡で被害大。京都で死者280、 負傷者1300。
1847	61		17		丹後大震災	●	
		1854	7	8.4	畿内・東海・東山・北陸・南海・山陰・山陽道(安政南海地震)	◎	被害地域は中部から九州に及び、津波被害が著しい。全体で死者数千。 京都では諸寺に被害が生じて、全壊家屋あり。
1927	80		73	7.3	丹後大震災	●	
		1946	19	8	南海道沖 (南海地震)	◎	中部以西の各地に被害。静岡県から九州に津波。 全体で死者1330。
		1952	6	6.8	吉野地震	●	
		1995	43	7.2	阪神淡路大震災	●	
		2024	29	7.6	能登半島地震	●	2024年1月1日震災発生

種類 * … 京都市周辺の活断層による地震南海・東南海地震
 ◎ … 他地域の活断層による地震
 ● … *周期・・・その地震の間近(過去)に発生した地震の間隔年

「もったいない」(2)

飯澤 登志朗

スーパーの米売り場から「米売り切れ」の情報がニュースで流れた。

コメ不足が報じられ買いだめもあるだろう、政府は米収穫が始まれば解消すると樂觀しているようだが異常気象や生産者の高齢化、後継者難もあつて今後の重要な問題である。

戦後、食糧難を体験している自分には色々な想い出が浮かんでくる。

小学校のグラウンドの三分の一が開墾され、芋畑としてさつま芋が植えられ家庭でも雑炊で腹を満たす生活であった。最近では雑穀米が高価で販売されたり、食品ロスで廃棄も報じられる。

食品ロスとは、

- ・形の崩れた規格外の加工食品
- ・賞味期限切れ加工食品
- ・家庭、飲食店の食べ残し

が主なもので、令和4年の農林水産省の発表によるとその廃棄量は、事業系275万トン、家庭系247万トン、計522万トン。

換算すると10キロ入り米袋5億7千2百万袋分になるとのこと、その廃棄物処分費用は年間2兆円になると報じている。

アルミの弁当箱の蓋についた飯粒一つ一つを丁寧に食べた昔が懐かしい。そして大量に廃棄される食品、現実であつても納得いかない自分がある。

「もったいない」の拙文を公民館だよりに投稿したのは約20年前であるがバブル全盛期には消費は美德と言われ、食品や衣料品など使い捨てが当たり前であつた。

「もったいない」は食品だけではない。時間の過ごし方にもあるのではないだろうか？

今年の敬老会で講師の話の中にこんな話があつた。教育と教養、漢字の意味ではない、「きょういく」は今日行くところ、「きょうよう」は今日の用事は：自分で作り出せ、認知症予防の為に：。

高齢になり終日外出せず家の中で過ごす、見るでもなしテレビを見ている。趣味や習い事に興味がない。日々の生活に意欲がわかず、こんな時間の過ごし方こそ時間をもつたない。

私自身は、と振り返れば該

当することが多い。分かつていても体が就いてこないのが現実である。少しでも「きょういく」「きょうよう」を大切にしたい。

「感想」

「もったいない」を読ませていただいて、いろいろ思うことがあります。自分は物を大切にしているだろうか。家の中に使わなくなった物や使わないものがありすぎて整理に追われている。

食べ物についても冷蔵庫の中にあるものを有効に使ったり、野菜を栽培して家で食す分はまかなつたりしている。今日、幼稚園児が由良の散策に来ていてグラウンドでどんぐり拾いをする事を聞きました。一緒にどんぐり拾いもいだろうなと思いました。

オリーブと出会って十一年

由良オリーブを育てる会

この由良地区でオリーブを育て早や十一年。三メートルを超える元気な樹々に育ちました。

私たちは、環境保護を考えて何年も消毒はしていません。今年は、猛暑の影響とカメムシの大量発生で、実が少ないのでは？と危ぶまれる中で、収穫が始まりました。

雨が少なかった影響もあるのか、委縮して茶色くなった小さな実や、炭疽病など病気の実、近年、大量発生しているオリーブアナアキゾウムシによる被害や鹿の被害を受けた樹もありました。それでもエネルギーのあるオリーブの樹は、今年も良い実を育んでくれました。

オリーブの収穫

九月中旬から始まった新漬け用の実の収穫は、大きく青々とした粒ぞろいの実を厳選し、繰り返し手作業で塩水漬けにします。

十月に入ると、いよいよオリーブオイル用の実の収穫が始まります。

会員がそれぞれの家庭で育てた実、当会のオリーブ園で育った実、一般家庭で育てられて提供していただいた実を、その日のうちに選果、鮮度の良い状態で搾油します。



今年も複数回に分けて収穫しますが、先日の収穫ではポリフェノール特有の辛味と、初々しい若草の香り高い上質のオイルができました。



搾油したてのオイルを食パンに付けて試食すると、この時だけの新鮮な味と香りが楽しめます。

ボランテティア収穫体験でも、オリーブ『新漬け』を炊き込んだご飯で作ったおにぎりを食べてもらい、オリーブ塩のサンプルを、お土産に持ち帰ってもらいました。

オリーブを育てる会の新商品
オリーブ塩は、農薬不使用のオリーブ葉パウダーと京丹後

の天然塩をブレンドしました。天ぷらに付けたり、焼き肉や魚のホイル蒸し、冷ややつこにもお勧めです。『丹後由良のオリーブ塩』として、近々販売予定です。現在、米粉とオリーブを使用した商品の開発も進めています。

オリーブの風水効果

オリーブの葉は鋭く上向きに伸びており、「陽の気」を持っているそうです。悪い気を払い、良い運を運んでくれるので、運気の出入り口である玄関にピタリと言われています。



(問合せ先)

由良オリーブを育てる会
080-9301-7890
※9時～18時(作業中は出られない場合がございます)

『由良ってこんなもの作れるんだ』IX

山下 剛 敏

史上最高を記録した猛暑日の日数、何とか凌いで過ごされたかと思えます。昨年のような一か月余りの日照りが続かず、僅かに時折雨の降ったことが、少しでも恵まれたように思います。

お盆前には、全国の田舎でも米不足が起こり、スーパーの棚がガラ空きになる事態も起こりました。この十年弱の気候変化がお米・野菜・果物といった作物全般で、作るのが難しくなっている事も価格高騰に影響しているかと思えます。しかし、このまま作り手が減少し、全ての食物が輸入品に頼ることになる↓コロナ過のような輸出入ができない↓日本には食べ物が無い。という悪循環が起きないとは限らない為、色々

と見直さなければいけない問題が身近であり肌で感じるようになっていきます。

今回は「ブロッコリー」を取り上げます。ブロッコリーは葉っぱ・菜っ葉類の野菜に分類されます。ここ最近、アスリートにも人気が高まっていると噂で、ビタミンCの豊富な食材です。



①種まきで苗以外に揃えるもの

有機石灰（有機だと植付けがすぐにできます）、堆肥（牛ふん・鶏ふんなど）、野菜用の化成肥料、用意できれば有機肥料（油かす・魚粉入り肥料など）。種から作る場合は苗作り用の3号ポット、種まき培養土が必要です。

②種から作る場合

七月上旬から八月中旬に種を購入し、3号ポットに種まき培養土を入れ、指先で窪みを付け、その窪みに2〜3粒まき、周りの土を被せて軽く押さえます。たっぷり水やりをして種と土が密着するようにしてやります。

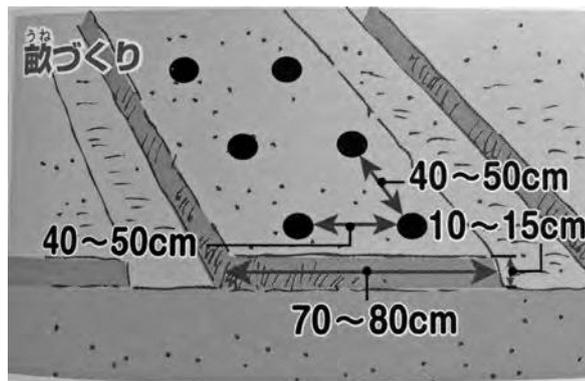
③間引き

種まきから十日から二週間ほどを目安に、本葉が二枚出たら間引いて、一本にしてやります。生育の悪い物をハサミで切り取って一本にしても大丈夫です。

④土壌を作る

（苗購入の場合はここから）

植える場所に、石灰と堆肥、使用される方は化成肥料も一緒に、よく混ぜるように耕します。そのあと幅は70〜80cm、高さ15cm程の低い畝を作ります。



⑤植え付け

本葉の4〜6枚出た苗をポットから根を傷めないよう、そつと取り出し、畝にポットの土と同じくらいの穴を掘り、苗を入れて軽く土を被せ押さえます。土と苗の根が密着するように、しっかりと水やりをします。

※植え付け時期は、害虫に葉っぱを食われ易いため、目の細かい寒冷紗（カンレイシヤ）を掛けてやった方が被害に会いやすいです。

⑥追肥 最低二回



植え付けから三週間を目安に、化成肥料または油カスなど有機肥料を、広がってる葉の下を一周させるように撒いてやり、土の表面を軽くほぐして混ぜてやります。その時はまだ寒冷紗を元に戻してください。

更に三週間後を目安に、大きくなった葉の下より外に溝を掘り、肥料を撒いて混ぜる程度に耕します。

⑦収穫

種まきから約二ヶ月半で収穫になります。十月中旬以降です。

大きくなったテツペンのブロッコリーは直径15cmにもなれば収穫してください。このブロッコリーの凄いの、ここからです。脇芽のようにできる「側花蕾（ソクカライ）」と言われる小さな部分が、これでもかっ！という位できます。3〜5cm程度でドンドン採って、料理に使えます。そして、僕自身



はやった事ありませんが、側花蕾のトウを立たせると、菜花として柔らかい部分を収穫し食べる事が出来るそうです。

ブロッコリーも色んな料理に使いやすい野菜です。茹でる・炒める・揚げる、と調理法が色々ある上に、火を通すと本来に緑色が鮮やかで、料理の彩りになります。茹でてマヨネーズ、が我が家の定番ですが、一時間かけて作ってみたのが、【無限ブロッコリー】と言われる料理。用意するのは、ニンニクの微塵切り・オリーブオイル・塩だけです。フライパンにオリーブオイルを入れて中火で熱し、ブロッコリーを入れて蓋をして2〜3分、ブロッコリーを引っくり返し蓋をして約3分、蓋を開けて刻みニンニクと塩を入れ、オリーブオイルを更に掛け、和えるように少し炒めて完成です。一度作ってみて下さい。おかず・酒のあて、どちらにもオススメです。

◎次回は 米 です。

今回の協力：由良の方々

「感想」

本当に野菜が値上がりして野菜を全て購入していると家計を圧迫します。少しでも野菜を自分で栽培したいです。

何事ですが、試行錯誤で何回か栽培していますと「こうした時にはよく育った。」とわかりだします。山下さんの「こんなもの作れるんだ」を参考にしてみたいと思います。いつもですが、土壌作りが難しく、参考にさせていただきます。

実際に、畑で講習をしていただけとありがたいという思いもありますので、また、考えてみていただければと思います。ブロッコリーの側花蕾はよく食っています。栽培している人の特権です。

由良が光り輝いていた時代 (25)

由良の歴史をさぐる会 加藤 正一

(京都丹後鉄道)

由良川鉄橋

旧国鉄宮津線(舞鶴〜宮津)

開業一〇〇周年

(二〇二四年四月十二日)

宮津線開通経過

由良川架橋地点決定

大正十年七月一五日、

工事契約締結 十月三日、

大正十年十月二十三日竣工、

大正十二年九月二十二日竣工

由良の歴史第一号 一九七七・十一

(由良の歴史をさぐる会発行)

宮津市史で

丹後では大正七年政府に働きかけを強めた結果、閣議決定を得、その後大正七年三月十二日議会を通過して正式に軽便鉄道法による丹後鉄道の建設が決まっ

た。ところが大正九年十月になっても、用地買収は進行しつづあつたが工事未着手であつたため、「：中略」工事開始の遅延は、由良川の架橋地点が定まらず、右岸に鉄道を通すか左岸とするかが未決着であつたことによる。結局大正十年(一九二二)五月鉄道省では東岸線に決し、その後やや間はあつたが十一年二月に工事を落札、最大の難工事であつた由良川鉄橋も十三年一月完成した。遅延の理由は私が諸先輩に聞いたのは、右岸(現在と逆側)を通ると由良の田んぼが潰れるとか、黒い煙が出ると地区民が反対した事が理由。ところが、変更された詳細な事情は、大江町史によれば「宮津線は路線確定後、

京都府知事から政府へ由良川架橋地点に対する要求が出され、再調査するなど容易に着工出来なかつた。

舞鶴から真壁トンネルを経て志高架橋の計画を知つた上流の村々(大江地方まで)では、水害を恐れて猛反対に立ち上がり、知事の政府に対する要求となつたのである。

宮津線が開通する工事経過が記されている「由良の歴史をさぐる会発行第二号」(一九八一年十二月)各家庭に配布された前記資料は、目にする機会が少ないことと思われる。そこで記載されている記事、貴重な「由良川鉄橋架橋苦労話」を宮津市のホームページに加えられている「由良公民館だより」に残しておくことで、広く後世の人の目に触れ先人の努力、苦労を知ってもらえる可能性に期待して転記、記載する。

(原文のまま転記します) 遺構 鉄道工事当時の覚え書き

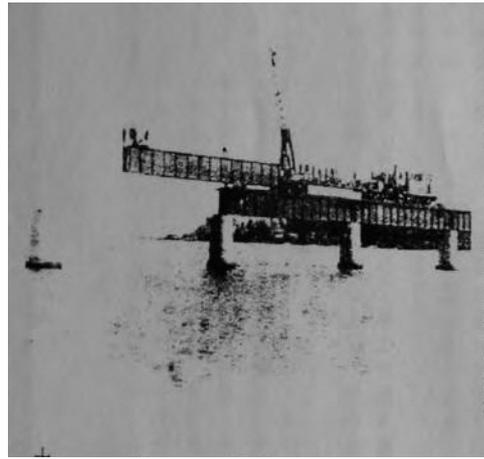
中西林兵衛 中西俊夫編

いまは遺稿となつたが、故中西林兵衛が生前、おりおりに書き綴つた日記・覚え書などの中から宮津線敷設当時の回想などを整理しここに掲載させていただきます。

そのまえに、宮津線の存廢が云々さされている折から、当時丹後の人達がどのような気持でこの鉄道の開通を待ちのぞみ、敷設にむかつて運動を進めていたか、遺稿発表に先立ち、まづ資料(与謝郡誌、加佐郡誌、宮津誌)を繙いて説明してみたいと思ひます。さて、その昔当地の人が京都に上がるのには丹波道中二泊三日の旅だつたそうですが、明治二一年頃になると宮津、京都間に直通馬車の営業が始つて「夜十時に馬車に乗ると翌夜六時頃にはもう京の西陣に到着した」と噂して、人々はこのスピードに驚いたと記

されておりません。しかしながらむかし栄えていた宮津の港も明治になってからは寂れるばかり。以後の文は宮津市史、舞鶴市史等に詳しく記載されているので途中省略します。

(続編)



大正時代から昭和になった時代の思い出は、由良の変遷時代と言うべき時期だったと思う。第一次世界戦争が終り、軍縮時代になって日本中が不景気に襲われた時で、由良の様な農村も養蚕が追々衰勢に傾きつつある時代で、そのような時に舞鶴から

峰山(原文宮津)迄の鉄道工事が着工されました。所謂失業救済事業であったと思います。

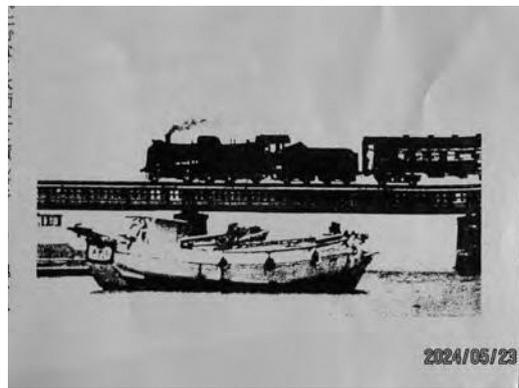
私も関係していた銀行が破産したのでこの工事の一端に参加して鉄橋工事の会計に採用されて鉄橋の実測から完成するまで、年中無休の二年半を勤めました。

その二年半の話題はいろいろとつきませんが、そのうちの鉄橋工事の事ですが、川の中の工事ですから工事の材料を置く場所から造らねばならぬので、川の中に杭を立てて板を張り十畳位の板の間を造って砂とバラスを積みこみコンクリートをつくったのです。造った井戸側は高さ八尺、外形十二尺、内径は十尺の型枠にコンクリートを詰め込んで造ります。

これを川の中で一寸と違わぬ場所に二十三本埋めていくのです。陸上と違って非常に難しいことでした。

ある時は大水が出て工事中の仕事師の男が流され、五日間その骸を探ねまして一週間後鐘崎の浜に水死体となって流着くということもありました。

以上は鉄橋工事の概略ですが、その他にも隧道工事や築堤、護岸の工事等いろいろと苦心しました。



神崎駅を出て鉄橋にむかう踏切りの手前、油江の山の下あたりでは、土器や刀剣、馬の轡等が多数に出土して、そのため宮内省より工事の中止命令が出て鉄道線路の変更になるような噂も伝わり、結局一ヶ月程して続行する事にはなりましたが、このことは附帯しての思い出は際限ない程です。簡単に文章に書くとは何でもないことなのですが、それは毎日が大変な事故の連続と云ってよい程でし

た。しかし、一面多勢の若い男女の工事人が働いて居るので、面白い話や悲しい物語のような事が毎日賑やかに話題があがったものです。

詳しく書き出すと限りなく長くなってしまうので、鉄道工事のことはこれ位にしておきます。

この鉄道の開通という新しい事態は、由良の変遷の時期でもあったと云えましょう。

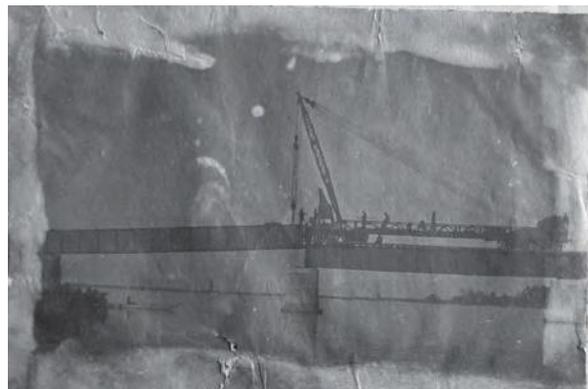
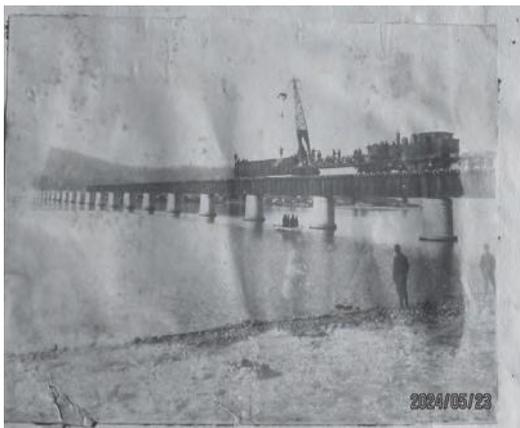
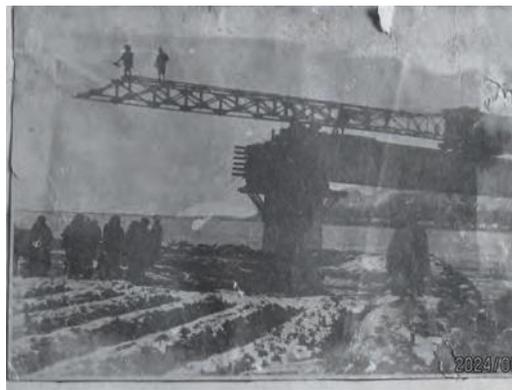
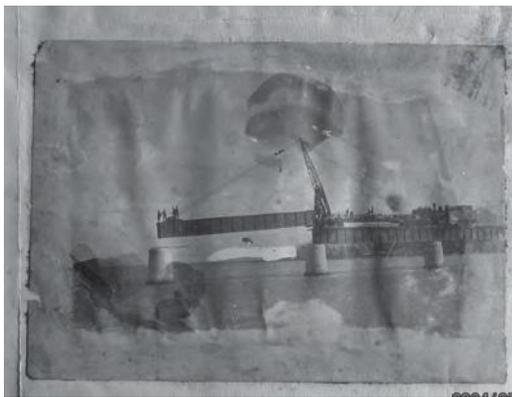
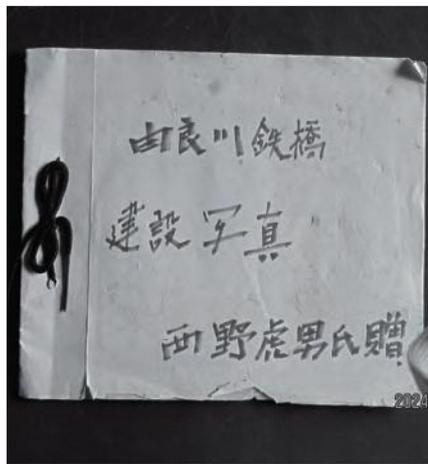
村の人々は交通が便利になったことで舞鶴の方へ働きに出る人や、鉄道等に就職する人も増え、これらのことも影響したのか生活なども非常に変わりました。例えばセメント利用の井戸側が流行し、その影響で各家庭にも風呂をつくるようになったり、セメント瓦の製造も盛んになって、丹後の大震災後の復旧のときなどにはよく売れたものでした。

また由良特産の石材も鉄道開通によって販路が広まってこれまでに比べますとよく出るようになりました。特に記すべきことは、この時期養蚕もおおいに衰退しはじめておりまして

蚕室を利用して海水浴客を迎える家もだんだんに多くなっておりましたが、これが、鉄道開通によって飛躍的に増えたことは誰もが認めるどころでありましょうし、観光地由良浜への転化の時期であったとも云えましよう。しかしながら、この時期は青年団等も一番充実した時で昔の部落で行われていた若衆宿の制度を改善して由良青年団を組織し、団員の数も100名位はいました。宗家を招いて松原寺で一泊二日の修養会を催したり、時には由良川筋六ヶ村の青年団に呼びかけて辨論大会を開き郡視学の臨席をおおいだこともありました。また体育運動を奨励して青年団だけの大運動会をし、京都府市連合の大運動会には会場の京都植物園へ選手を四、五名送り込む有様でした。このように、その頃の由良青年団は隆盛を極めておりまして、この結果は青年男女の風紀も非常に開拓されて夜這いなどと云う悪習も根を絶つに至ったようであります。

以上、鉄道建設当時の様子や、この開設によって由良がどのように変わったか、古いことなので忘れてしまったことも多いのですが、思い出すままに書き綴ってみました。中西俊夫 編

貴重な写真（由良郷土資料館蔵）



舞鶴市史によると

この路線は、最初府は由良川左岸沿いを主張していたが、諸般の事情で右岸沿い(現路線)に変更された。このため河口部に設けられることになった由良川鉄橋は難工事で当時としては巨額の三十万円、舞鶴〜由良間の工事費七十八万八千円を費やし完成した。現在の貨幣価値でいくらになるのだろうか? 「三菱UFJ信託銀行によると。①一九一三年(大正二年)の企業物価指数は〇・六四七なので、二〇一九年と比べ、一・〇八〇倍の差があり、つまり、一円は一〇八〇円程度の価値があったと言えます。②当時の小学校の教員の初任給は五〇円程度といわれているので、一円は四〇〇〇円程度の価値がある。③大正時代の白米一〇kgの値段は一円七八銭だったといわれている当時の一円は一四七二円の価値がある。」一円一〇八〇円〜四〇〇〇円とすると、

鉄橋の三十万円は三億円〜十二億円になるが、あまりにも少ないような気がする。実際いくらかかるのだろうか?

由良川鉄橋の長さは、五五一m、由良川上流の橋、河口側から

・八雲橋 (吊り橋)

長さ 一七二m

幅 五m

高さ 八m

・大川橋

長さ 四〇一m

・岡田下橋 (トラス橋) (志高)

長さ 一五二m

幅 四m

昭和三〇年

計画通り志高を経由する左岸を通していれば長さが岡田下橋の一五二mくらいになり、現由良川鉄橋と比べ長さが約1/3以下の為、もし鉄橋に異常が起きても復旧の可能性があるが、現由良川鉄橋で異常が起きると多額の費用が発生し復旧の可能性が

低くなる。由良が現状の状態を維持するためにも、開通百年経った今後も鉄橋に異常が起きないことを願うしかない。

この工事(宮津線)を請け負ったのは、福知山鉄道管理局史によると京都 後藤甚五郎である。

もしかすると「日本鉄道請負業史 大正昭和篇」日本鉄道建設業会(一九七八)に記載されていれば会社名が分かるかもしれない。ちなみに由良〜栗田間は大正十二年十二月、宮津までは翌十三年二月開通し、四月から舞鶴〜宮津間の営業が開始された。中西俊夫氏文書に書かれているセメント利用の井戸側が流行し、とある。現在は水道がひかれてより井戸は使われていないが、多くの井戸枠は円形のコンクリート製のものである。ところが、道沿いの宮本地区、脇地区だけでも、今では貴重な四角の切り石を組んだ石組の井戸を四ヶ所見ることが出来る。

石組の井戸



コンクリート製井戸



石組井戸枠とコンクリート製の井戸枠では工法が大きく異なる。

私考

石組井戸の工法は詳しいことは分らないが、木枠で崩落防止をしながら水が湧くところまで四角に掘り進め、石枠を下ろしながら重い石を一段ずつ組み上げたものと思われる。組み上げ後木枠を外し繰り返し。

コンクリート製の井戸は、円筒の一段目を置き、その中を掘り下げ、掘り進めることにより円筒枠が沈んでいく、ある程度沈んだところで二段目を乗せる。この繰り返しにより、水が湧くところまで掘ることにより、井戸が完成する。石組みと比べると大幅に合理化できる上、危険度も少ない。

お詫びと訂正

如意寺名称変更後300年ですがその変更理由を、田辺藩牧野家五代惟茂様の幼名を長福と付けるに当たり、長福寺の代わりに如意寺に変更と説明してきたが、間違いとの指摘を受けました。再度、年月日を確認した「丹後国加佐郡舊語集」を見ると「享保五年（一七二〇）公方家重御名ヲ奉憚四月廿三日如意寺ト改ム」とあり、私がさぐる会の先賢者から聞き知った変更理由「惟茂様の幼名に・」の先入観により年月日のみを確認。先賢者からの惟茂様に関する裏付け資料は確認出来ませんでした。また資料にあるように長福は將軍家重公の幼名であり、全くうかつな説明をしました。しかし享保五年（一七二〇）は家重公の誕生日正徳元年十二月二日（一七一一）とずれがあり、家重公に憚るにしても名称変更した年月日が不可思議。事態に気づいた住職・檀家の意志での変更より、田辺藩が幕府に付度し、如意寺に変更指示した？



如意寺本尊 薬師琉璃光如来 50年に1度のご開帳 2024年10月20日



現在の由良川鉄橋 2024年4月29日

令和5年度 宮津市立中学校人権標語優秀作品

- 「やめてくれ」心の中の SOS ひそかなサイン (中学1年生)
- さりげない 優しい言葉 笑顔を増やす (中学2年生)
- 「あ～よかった」素直に伝えた ほんとの気持ち (中学3年生)

編集後記

近代オリンピックピックの父、ピエール・クーベルタン男爵は、「オリンピックは、勝つことではなく、参加することに意義がある」という名言を残しました。

オリンピックだけでなく、様々な事がこの名言に当てはまるのではないかと思います。

自分が出る出来ないにかかわらず、参加することが大切なのではないでしょうか。例えば、「由良神社例祭の練習に参加する。公民館グラウンドゴルフ大会や文化祭に参加する。栗田学院運動会に参加する。オリーブの収穫やオリーブ祭に参加する。如意寺改名300年祭に参加する。みやづ健康づくりフェスティバルに参加する。」等です。

これらは、月に2回の回覧板で知ることが出来ます。回覧板に一通り目を通して、カレンダー等にメモしておき、参加で

きるときには参加するようにすれば、自分にとっても良いし、地域も活性化していくように思うのですが、どうでしょう。写真は栗田学院運動会の様子です。

